

新年のご挨拶

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
会長 石村和彦



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかに新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。また、旧年中は当協会運営に対し多大なご支援、ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、顧みますれば去年はイギリスの EU 離脱、アメリカのトランプ新大統領の誕生と TPP 離脱表明等、大方の予想とは大きく異なる結果が発生し、まさに激動の年で気が抜けない一年でした。

このような環境のなかで迎える新年はどのような年となるのでしょうか？

国際状況においては従来グローバル化が進展してきた方向とは違う、ナショナリズム、保護主義的な方向性が強くなってきておりますし、国内においても経済・金融政策の方向転換が実施、検討されるなど安穏な状況を期待できるような年ではないようです。一方で、昨年夏に発表された「日本再興戦略 2016」の実施加速策においては ZEH の普及加速や既存住宅流通・リフォーム市場の活性化が盛り込まれており、国による一層の支援策強化も期待されております。

こうした状況を踏まえ、当協会では昨年来積極的に取組んで参りました 3 つの重点課題と新築住宅における ZEH 普及活動を今以上に加速化させていく所存でございます。

まず、リフォームビジネスの拡大ですが、昨年 10 月開催のジャパンホームショーにおいては「孫・子もよろこぶ健康リフォーム」をメインテーマとした展示ブースを出展し、3 日間で 1 万人の来場者をお迎えすることができました。

また、リフォーム推進委員会 制度検討部会で検討中の設備インスペクション制度では既存インスペクション制度とのコラボを実現すべく試行を実施中です。加えて、エネルギー・環境委員会 断熱材普及部会において、浴室断熱リフォームの施工方法を解説するビデオを制作中で間もなく皆様にご覧いただけるようになります。

次に ZEH 住宅の普及促進を支援する活動では、エネルギー・環境委員会に ZEH 分科会を設置し、参加各社の多くの委員のご協力により工務店様向けテキスト「ZEH のつくり方」を作成し、現在これを使い全国 6 か所での講習会を開催中であります。

グリーン建材普及促進基盤構築事業については昨年ベトナムでの高日射反射率塗料に関する JIS 導入計画が動きだしており、従来進捗していたインドネシアにおける窓の熱性能と節水トイレの JIS 導入と併せ活動が一気に動き始めており、この機を逃さず対応して参りたいと存じます。また、国際標準化においては窓の遮熱性能についての日射熱取得率の測定についての ISO 審議がほぼ決着し、温水洗浄便座の IEC 規格、WPRC の ISO 規格制定も最終段階を迎えております。

最後にカタラボについては掲載カタログ数、掲載ページ数、月間ページビューすべてが前年を大きく上回る実績となっておりますが、会員企業数については現状維持となっております。5 年後のユーザーニーズを捉えたカタラボの機能向上と認知向上につき分科会にて鋭意取り組んでおります。

新しい年を迎え、当協会は昨年以上に協会の重点課題の進捗に注力し、皆様の事業発展のため、経済産業省、国土交通省等の関係官庁と連携を強化しつつ支援施策を展開して参ります。

末尾にあたり、皆様のご健勝と会員会社・団体様のご繁栄を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。